

様式4号

契約変更の内容

事務所名：福島地方環境事務所

工 事 名	令和6年度中間貯蔵容器残さ分別処理工事（第1回変更）
契約変更年月日	令和8年2月24日
工 事 種 別	土木工事
工 事 場 所	福島県双葉郡大熊町及び双葉町地内（中間貯蔵施設区域内）
契 約 業 者 名	株式会社鴻池組 東北支店
契 約 業 者 の 住 所	宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番27号
工 期 （ 自 ）	令和7年2月7日
工 期 （ 至 ）	令和8年3月24日
工 事 概 要	(1) 容器残さ分別処理工事 1) 建設工事 2) 容器残さ分別処理工事
契 約 金 額	金1,382,920,000円（消費税込）
変更後の契約金額	金1,460,470,000円（消費税込）
変 更 理 由	分別方法等の調整をしたことに伴い、設備の稼働期間を1ヶ月延長したことによる増、併せて工期を延長するもの。

様式3号

契約の内容

施設名 福島地方環境事務所

工事名	令和6年度中間貯蔵容器残さ分別処理工事
契約年月日	令和7年2月6日
契約方法	一般競争入札（施工体制確認型総合評価落札方式）
工事場所	福島県双葉郡大熊町及び双葉町地内（中間貯蔵施設区域内）
工事種別	土木工事
契約業者名	株式会社鴻池組 東北支店
契約業者の住所	宮城県仙台市青葉区中央二丁目9番27号
工期（自）	令和7年2月7日
工期（至）	令和8年2月27日
工事概要	（1）容器残さ分別処理工事 1）建設工事 2）容器残さ分別処理工事
契約金額	金1,382,920,000円（消費税込）

開札調書（総合評価落札方式）

件名 令和6年度中間貯蔵容器残さ分別処理工事

開札日 令和7年1月30日 13時30分

落札業者 株式会社鴻池組 東北支店

開札執行員

契約額 1,382,920,000円 適用条文 会計法第29条の3第1項

開札執行員補助

※契約額は、消費税及び地方消費税の額10%を加算した額である。

開札執行立会員

(単位：円)

予定価格		¥1,503,018,000 -											基準評価値（標準点/予定価格（億円））			7.3186								
備考		(入札書に記載された金額と比較する価格)											¥1,366,380,000											
番号	入札業者名	標準点	加算点										施工体制評価点			評価点		第1回			第2回			摘要
			技術提案							企業の能力等 ⑨	技術者の能力等 ⑩	賃上げの実施を表明した企業等 ⑪	合計 ⑫=⑧+⑨+⑩+⑪	品質確保の実効性 ⑬	施工体制確保の確実性 ⑭	合計 ⑮=⑬+⑭	標準点+施工体制評価点+加算点の合計 ⑯=①+⑫+⑮	入札金額 円 " 億円 ⑰	評価値 ⑱=⑯/⑰	評価 順位	入札金額 円 " 億円 ⑲	評価値 ⑳=⑱/⑲	評価 順位	
			①	指定テーマ1 ②	指定テーマ2 ③	指定テーマ3 ④	指定テーマ4 ⑤	指定テーマ5 ⑥	合計 ⑦=②+③+④+⑤+⑥															
1	株式会社鴻池組 東北支店	100	8.0	9.0	9.0	3.0	6.0	35.0	35.0	-	-	4.0	39.0	15.0	15.0	30.0	169.0	1,257,200,000 12.57200	13.4425	1				電子落札 令和7年2月3日
2	大成建設株式会社 東北支店	100	9.0	9.0	9.0	4.0	3.0	34.0	34.0	-	-	4.0	38.0	15.0	15.0	30.0	168.0	1,258,000,000 12.58000	13.3545	2				電子
3	株式会社奥村組 東北支店	100	6.0	6.0	4.0	3.0	3.0	22.0	22.0	-	-	4.0	26.0	15.0	15.0	30.0	156.0	1,257,500,000 12.57500	12.4055	5				電子
4	前田建設工業株式会社 東北支店	100	6.0	5.0	6.0	5.0	5.0	27.0	27.0	-	-	4.0	31.0	15.0	15.0	30.0	161.0	1,260,000,000 12.60000	12.7777	3				電子
5	株式会社大林組 東北支店	100	6.0	5.0	6.0	5.0	2.0	24.0	24.0	-	-	4.0	28.0	15.0	15.0	30.0	158.0	1,263,000,000 12.63000	12.5098	4				電子
調査基準価格																	¥1,382,775,900 - (¥1,257,069,000 -)							

(注) 上記金額は、入札者が見積もった契約金額の110分の100に相当する金額である。

技術提案の欄は、施工能力評価型の場合には「-」を記述する。